

令和6年度 長井市立西根小学校 学校経営大綱

1 学校教育目標

心身ともに健康で、確かな学力をもつ子供

2 求める子供像

- (1) 主体的に学習し、確かな学力をもつ子供
- (2) 自律をめざし、思いやりのある子供
- (3) 明るく健康で、心身ともにたくましい子供
- (4) ふるさとを知り、ふるさとを大切にする子供

【刻歩極頂】

読み；こくほ きよくちょう

意味；一步一步の歩みを大切に

頂上にたどり着く

合言葉「気づき 考え 実行する」

【西根っ子のめあて】

- あ …… あきらめない
- い …… いのちを大切に
- う …… 美しい心
- え …… 笑顔であいさつ
- お …… おもいやりの心

3 求める学校像

- (1) 子供たちが明日も登校したいと思える学校
- (2) 保護者が登校させたいと思える学校
- (3) 保護者や地域と共にある学校
- (4) 教師が教育活動にやりがいを感じる学校

4 学校経営の方針

- (1) 第6次山形県教育振興計画（後期計画）、置賜教育事務所「おきたまの教育」、長井市教育振興計画、長井市学校教育の重点等を基盤に、本校の自然的・歴史的・文化的・人的環境を生かした教育を推進する。
- (2) 子供たちの安全・安心を第一に、危機管理の徹底を推進する。
- (3) 「教育の村 西根」の教育力を生かし、家庭・地域との連携・協働を一層強め、スクール・コミュニティの実現に向け、学校運営協議会と地域学校協働本部事業を核に、社会に開かれた教育課程を推進する。
- (4) 一人一人のよさを認め合い、自尊感情を高めるとともに、主体的に学び合い、高め合う教育活動を推進する。
- (5) 一人一人の特性や個性を尊重し、多様な個人の可能性を最大限に引き出す特別支援教育を推進する。
- (6) 教職員が学び合い、支え合い、若手職員の育成に努めながら、めりはりのある教育課程を確実に実施するとともに、学校の働き方改革をいっそう推進する。

5 本年度の重点

(1) [確かな学力の育成]

- 重点1 わかる楽しい学習活動の充実を通じた確かな学力の向上
- 重点2 主体的に学習し、学びを実感できる指導の工夫
- 重点3 ICT活用・読書活動・家庭学習の充実と自己マネジメント能力の育成

(2) [豊かな心の育成]

- 重点1 自律をめざした基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成
- 重点2 共感的で温かい人間関係をもとにした自尊感情と自治的能力の育成
- 重点3 児童理解を深め、多様な個人の可能性を最大限に引き出す特別支援教育の推進

(3) [健やかな体の育成]

- 重点1 安全・防災教育の充実による危機対応能力の育成
- 重点2 教科体育の充実と効果的なカリキュラムに基づく体力・運動能力の向上
- 重点3 望ましい生活リズムの確立と衛生習慣の定着
- 重点4 いのちの学習と食育の充実

(4) [社会力の育成]

- 重点1 体験学習と勤労生産学習を効果的に位置付けた教育課程の編成
- 重点2 地域学習での発信・参画と学校支援ボランティアの積極的な活用

6 長井市の重点を踏まえた取り組み

(1) 確かな学力の育成

- ① 学校研究を核として、主体的に学ぶ子供の育成を目指した授業改善
 - ア 学習課題・問いを把握し、見通しをもつ
 - イ 問題解決しながら、知識技能を習得し、問題解決に必要な能力を身に付ける
 - ウ 振り返りを通して、新たに次の活動の見通しをもつ
- ② 知的好奇心や豊かな感性を育む読書活動の推進
- ③ 全校テスト（国・算）、「ぐんぐんタイム」等を位置づけ、学びの基本を大切にしたい取り組み
- ④ 個別最適化の実現に向けたICT（1人1台タブレット）の活用と実践力の向上
- ⑤ 長井市外国語推進計画に基づき、小学校としての英語力向上
- ⑥ 教科体育の充実と体を動かして遊ぶ楽しさの体験

(2) 多様性の尊重と特別支援教育の推進

- ① 特別支援教育の校内研修を行い、教職員の専門性を高める
- ② 「西根小学校いじめ防止基本方針」を基底にすえ、関係機関と連携のもとに、いじめ問題の解決に向けた未然防止、早期発見、早期対応、組織的対応
- ③ 週1回、児童理解の場を設定し、教職員間の情報交換と共通理解
- ④ 欠席した子供や心配な子供への適切な対応、電話・家庭訪問・保護者との面談の実施
- ⑤ 「教育相談」「心のアンケート」「いじめアンケート」「ハイパーQ-U」「子供を語る会」を関連付けて計画的に実施
- ⑥ 家庭と連携した、望ましい生活リズムの確立とメディアコントロール
- ⑦ 「心を育む学校給食週間」の取り組みをととした食育指導の推進

(3) スクール・コミュニティの推進

- ① 学校運営協議会と地域学校連携事業の推進
- ② 地域と願いを共有するための社会に開かれた教育課程と開かれた学校づくりの推進
- ③ 西根地区の伝統文化や西根小学校の歴史と文化の継承を大切にしたい教育課程編成
- ④ 道徳教育との関連を図り、地域の方との交流による郷土愛や思いやりの心の育成

7 特色ある教育活動の展開 <長井の心を育む学校>

(1) 全校葉山登山

60年を超す伝統ある行事を継承する。5・6年生は勸進代コースから山頂の葉山神社、可能ならば奥の院へ、3年生は展望台付近まで、4年生は草岡コースとの分岐付近まで、1・2年生は縄文村から大石沢を目標に、西根小学校ならではの教育活動を行う。

(2) 地域が興した伝統文化の継承

地域有志が生み出した「縄文太鼓」を4年生が継承していく。校舎内にある地域体験教室を生かし、ここ西根の丘に暮らしていた縄文人への思いを太鼓の調べで表現するという、西根小学校ならではの教育活動を行う。また、3年生の「大明神桜」「昔語り」等に関する地域学習についても、児童からの発信・参画を大切にする。

(3) けん玉日本一

西根地区には、競技用けん玉生産日本一の会社があり、生活科で工場見学をするなど、つながりも深い。また、けん玉は、体力や年齢に関係なく楽しめるスポーツであり、集中力を養うことができる。「けん玉認定会」等を通して全校生で競技けん玉に取り組むといった西根小学校ならではの教育活動を行う。